小児がん中央機関からの報告

国立成育医療研究センター 小児がんセンター **松本公一**

小児がん中央機関の役割

H24年9月7日(H26年2月5日最終改正)厚生労働省健康局長通知

- (1)小児がんに関する相談支援の向上に関する体制整備を行うこと。また、小児がん患者・経験者の発達段階に応じた長期的な支援のあり方について検討すること。
- (2)小児がんに関する情報を収集し、広く国民に提供すること。
- (3)全国の小児がんに関する臨床試験の支援を行うこと。
- (4)小児がん拠点病院等に対する<mark>診断、治療などの診療支援</mark>を行う こと。
- (5)小児がん診療に携わる者の**育成に関する国内の体制整備**を行う こと。
- (6)小児がんの**登録の体制の整備**を行うこと。
- (7)(1)から(6)の業務にあたっては、**患者、家族及び外部有職者等による検討**を踏まえて行うこと。

(2)小児がんに関する情報を収集し、広く国民に提供すること。

全国の小児がん診療病院の情報を掲載しました



小児がんセンター 診療施設

検索



▶ 小児がん中央機関

国立成育医療研究センターは、「小児がん中央機関」として、相談支援、小児がんの診断支援・(需診断・病・理診断・分子診断等)、小児がん登録外制の整備(データセンター)、人材育成(医師、看護師など)に取り組み、全国の小児がん拠点病院を牽引しています。

- ▶ 中央分子診断
- 中央画像診断 ▶ データセンター



▶ 全国の小児がん診療施設の情報

小児がん診療の質の向上や小児がん患者さんへの適切な医療の提供へつなげるため、 全国の小児がん診療施院こいての情報を掲載しています。各施設の病院住所などの 基本情報、診療セリスは、初き・用限の診療実績が入脱数、面会・相談・院内学級 の有無、診療機能や専門資格保持者の有無などがご覧いただけます。



▶ 関東甲信越地域小児がん医療提供体制協議会

関東甲竜越地域プロックの新規小児が人患者数は年間終700-750人と国内における患者数の約1/3に相当しています。プロック内の4つの小児が人拠点開発、地域の小児が人形を発起される存在を提供、10部所から順点される「関東甲価越地域小児が人医療提供・特別協議会」は、小児が人地域計画書を策定し、プロックにおける小児が人医療の質の向上を図り、小児が人患者とその策熱が、慣れ親しんだ地域に重まて、安心して適切な医療や支援を受けられるような環境の整備を目標としています。

▶ 情報公開

▶ 主な取り組み

一覧の施設名をクリックすると、その施設の情報公開のPDFファイルが開きます。 (金2ページです) 施設一覧の★マークは小児がん拠点病院に指定されている施設です。 スマートフォン等で地図が表示されない場合は、下記のリンクよりご覧ください。 ▶ 北海道 ▶ 東北 ▶ 関東甲信越 ▶ 東海・北陸 ▶ 近畿 ▶ 中国・四国 ▶ 九州・沖縄



一について > 主な取り組み > 小児がんセンター(小児がん拠点病院・中央機関) > 全国の小児がん診療施設の情

全国の小児がん診療施設の情報

はじめに

この度、小児がん診療の質の向上や小児がん患者さんへの適切な医療の提供へつなげるため、各施設のご協力を得て小児がん診療 施設についての情報を掲載することとなりました。

公開されている情報については下記の説明をよくお読みいただき、ご不明な点がございましたら下記までご連絡ください。

お問合せ先

国立成育医療研究センター小児がんセンター内 小児がん中央機関事務局

shounigankyoten@ncchd.go.jp

電話:

03-3416-0181(代表) 内線7331、7542 (平日9:00~16:00)

情報公開について

病院の基本情報は特に記載がない場合、2017年1月1日現在のものです。

小児がん診療施設情報 -- 関東甲信越ブロック

茨城県 茨城県立こども病院 🗅 茨城県 筑波大学附属病院 🗅

3	栃木県	獨協医科大学病院 🗅
4	栃木県	自治医科大学附属病院 🗅
5	群馬県	群馬県立小児医療センター 🗅
6	群馬県	群馬大学医学部附属病院 ▶
7	埼玉県	★埼玉県立小児医療センター □
8	埼玉県	埼玉医科大学国際医療センター
9	千葉県	千葉大学医学部附属病院 🗅
10	千葉県	成田赤十字病院
	千葉県	日本医科大学千葉北総病院 🗅

	会可能者
集中	治療室面会時間
	会可能者
付き	添い(○不要、◎希望で24時間可能、□24時間必要、
他()	具体的に記載))
入院	可能年齢
	窓口
患者	家族宿泊施設(◎敷地内、○近隣)
代	表的施設名
患者	「同胞短時間預かり施設(◎院内、○近隣)
	家族休憩室(◎予約不要、○予約要)
陰戊	出去宏佐仝(名称 油丝牛)

 	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	44 L-14-En a	~ I++n	

		果京都小児かん診療連携協議会参加施設の情報公開
医療機関名		国立研究開発法人 国立成育医療研究センター
	住 所	〒157-8535 東京都世田谷区大蔵2-10-1
	施設ホームペ゚ージ	http://www.ncchd.go.jp/
		称、電話、Fax、メールアドレス、対応可能時間
		小児がん相談窓口/小児がん医療相談ホットライン
	電話	小児がん相談窓口:03-3416-0181(病院代表) / 小児がん医療相談ホットライン:03-5494-8159
		なし
	メールアトレス	なし
		小児がん相談窓口:月曜日~金曜日 8時30分~17時00分 / 小児がん医療相談ホットライン:平日10:00~16:00
		>:名称、電話、Fax、メールアドレス、対応可能時間
	名 称	医療連携・患者支援センター 医療連携室
		03-3416-0181(病院代表)
		03-5494-7682
	メールアト・レス	なし
	対応可能時間	月曜日~金曜日 8時30分~17時00分

施設の特徴(アピール)

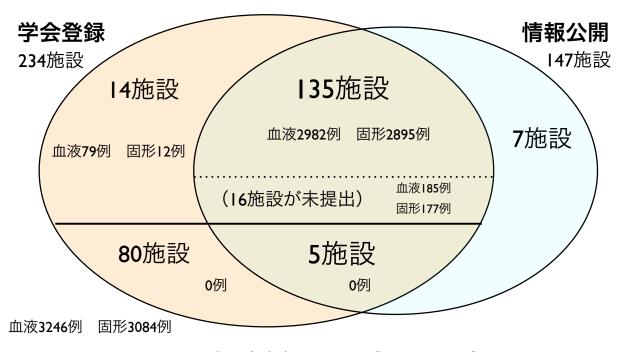
国立成育医療研究センター小児がんセンターは、全ての小児がん患者に対して世界標準かつ優しく温かい医療を提供するとともに、臨床研究の推進、新規治療の開発、長期フォローアップ体制の確立などを通じて、わが国の小児がん診療をリードすることを目標としています。拠点病院として、地域の小児がん診療を担う医療機関と連携し、小児がん患者及びその家族が、適正な医療と支援を受けることができるよう、全面的にサポートします。

診療受け入れ容量 小児が心病医(対応可能数) 東中治療医(うちPICU, HCU) 水来化学療法(⑥実積あり, 〇可能) 休日・夜間教急対応(⑥院外患者対応可能(条件記載)、〇院内患者のみ対応可能) フォローアップ外来(⑥フォローアップ専門外来、〇そのほかの外来)(外来日) 60 12 (12) ◎ 月金.午前 火水木:午後 血液腫瘍科 移植·細胞治療科 固形腫瘍科 脳神経腫瘍科 小児外科 移植外科 脳神経外科 眼科 整形外科 放射線科 病理診断科 小児がんセカンドオピニオン対応可能診療科

阮内思有家族芸(名称、建龄先)	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
院内学級(◎:分教室、○:訪問教育)	0
通院患者の通学(〇可能)	
ベッドサイドでの授業(〇可能)	0
高校生への教育支援体制(②:分教室、〇:訪問教育)	0
通院患者の通学(○可能)	
ベッドサイドでの授業(〇可能)	0
就学前児童保育	0
保育士	0
臨床心理士	0
チャイルドライフスペシャリスト	0
ホスピタルプレイスペシャリスト	
子ども療養支援士	
ソーシャルワーカー	0
	上記は小児がん診療に実際に携わる人員です。

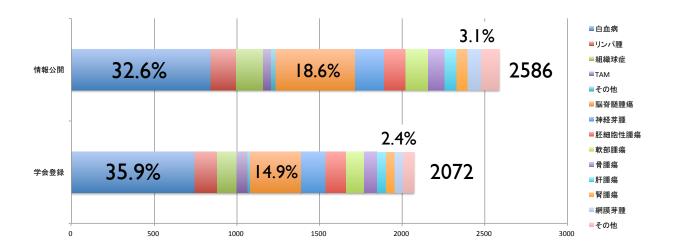
診療実績(初発・再発別)		2016			2015			2014		-			
(再発例は再発で紹介された症例のみ)	初発	再発	合計	初発	再発	合計	初発	再発	合計				
血器腫瘍	41	1~3	44	44	1~3	46	26	0	26				
急性リンパ性白血病	15	1~3	16	12	1~3	13	7~9	0	7~9				
急性骨髄性白血病	4~6	1~3	4~6	4~6	0	4~6	1~3	0	1~3	-			
まれな白血病	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
MDS/MPDのうちCML	1~3	0	1~3	0	0	0	1~3	0	1~3	- 1			
MDS/MPDのうちCMLを除く	4~6	0	4~6	4~6	0	4~6	1~3	0	1~3	- 1			
非ホジキンリンパ腫	4~6	1~3	4~6	4~6	0	4~6	1~3	0	1~3	- 1			
ホジキンリンパ腫	1~3	0	1~3	1~3	0	1~3	0	0	0	- 1			
その他のリンパ増殖性疾患	0	0	0	1~3	0	1~3	0	0	0				
組織球症(HLH)	4~6	0	4~6	1~3	0	1~3	1~3	0	1~3	- 1			
組織球症(LCH)	1~3	0	1~3	4~6	1~3	4~6	1~3	0	1~3	- 1			
その他の組織球症	1~3	0	1~3	1~3	0	1~3	4~6	0	4~6				
その他の造血器腫瘍 Down症TAM登録	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
Jown症 I AM登録 形腫瘍	1~3		1~3	1~3	0 1~3	1~3	1~3	0 4~6	1~3				
神経芽腫瘍群	69	4~6	75	59		61	50		54				
伊柱オ煌場研 網膜芽腫	7~9	1~3	10	4~6	0	4~6	1~3	0	1~3	- 1			
附脵チ <u>腫</u> 腎腫瘍	7~9 1~3	1~3	10	7~9 1~3	0	7~9 1~3	1~3	1~3	1~3				
育理場 肝腫瘍	1~3 7~9	,	7~9	7~9	_		,			- 1			
计阻場 骨腫瘍	, ,	0	, ,	, ,	0	7~9	4~6	1~3	7~9	- 1			
	0		0	0	0	0	1~3	0	1~3	- 1			
軟部腫瘍	4~6	0	4~6	1~3	0	1~3	1~3	0	1~3	- 1			
胚細胞腫瘍(脳·脊髄病変以外)	4~6	1~3	4~6	4~6	0	4~6	4~6	0	4~6				
脳脊髄腫瘍	28	1~3	30	27	_	診療実績	(1 10 米)		2016	2015	2014	2013	2010-20
その他の固形腫瘍	4~6	0	4~6	1~3		入院患者			766	689	640	2013	2010-20
	粘表皮癌			原発不		入院在院			15.395	13.736	14.543		
その他の固形腫瘍(具体名)	肺芽腫			ラブドイ	全入院患		ETHM		13.828	13,730	13.254		
	膵腫瘍			腫瘍			院延べ日装	9tr	141.076	,	127.422		
					エハル心	ロハルエ	ME 103	K.	141,070	137,000	127,422		
					診療	実績(造血	1幹細胞移	植)	2016	2015	2014	2013	2010-20
					診療		.幹細胞移	植)	2016	2015	2014 10	2013	2010-20
					同種造血			植)					
					同種造血 同胞間: 家族間/	細胞移植 造血細胞科 ハプロ造血	多植 1細胞移植		17	13	10	10	26
1.14 10 0	. -/ 17 -	— *L			同種造血 同胞間: 家族間/	細胞移植 造血細胞科	多植 1細胞移植		17 1	13	10	10	26 5
一人当たりの	在院	日数	:=		同種造血 同胞間: 家族間/	細胞移植 造血細胞和 ハプロ造血 造血細胞和	多植 1細胞移植		17 1 1	13 2 2	10 1 0	10 0 2	26 5 1
一人当たりの	在院	日数	ζ=		同種造血 同胞間: 家族間/ 非血縁;	細胞移植 造血細胞和 ハプロ造血 造血細胞和 多植	多植 1細胞移植		17 1 1 10	13 2 2 1	10 1 0 5	10 0 2 5	26 5 1
, ,_,	.—		•		同種造血 同胞間; 家族間/ 非血緣; 臍帯血	細胞移植 造血細胞和 ハプロ造血 造血細胞和 多植	多植 1細胞移植		17 1 1 10 5	13 2 2 2 1 8	10 1 0 5 4	10 0 2 5 3	26 5 1 11 9
, ,_,	.—		•		同種造血 同胞間; 家族間/ 非血緣; 臍帯血	細胞移植 造血細胞和 ハプロ造血 造血細胞和 多植	多植 1細胞移植		17 1 1 10 5 7	13 2 2 1 8 7	10 1 0 5 4	10 0 2 5 3 7	26 5 1 11 9
一人当たりの 在院延べ日数 <i>/</i>	.—		•		同種造血 同胞間; 家族間/ 非血緣; 臍帯血	細胞移植 造血細胞和 ハプロ造血 造血細胞和 多植	多植 1細胞移植 多植		17 1 1 10 5 7	13 2 2 1 8 7	10 1 0 5 4	10 0 2 5 3 7	26 5 1 11 9
, ,_,	.—		•		同種造血 同胞間; 家族間/ 非血緣; 臍帯血	細胞移植 造血細胞科 いプロ造血 造血細胞科 移植 細胞移植	多植 1細胞移植 多植		17 1 1 10 5 7 24	13 2 2 1 8 7 20	10 1 0 5 4 1	10 0 2 5 3 7	26 5 1 11 9
, ,_,	.—		•		同種造血 同胞間; 家族間/ 非血緣; 臍帯血	細胞移植 造血細胞和 で 造血細胞 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	多植 紅細胞移植 多植 者数 腫瘍		17 1 1 10 5 7 24 2016 4	13 2 2 1 8 7 20 2015	10 1 0 5 4 1 11 2014	10 0 2 5 3 7	26 5 1 11 9
, ,_,	.—		•		同種造血 同胞間; 家族間/ 非血緣; 臍帯血	細胞移植 造血細胞 で 造血細胞 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	多植 細胞移植 多植 者数 腫瘍		17 1 1 10 5 7 24 2016 4	13 2 2 1 8 7 20 2015 6	10 1 0 5 4 1 11 2014 5 6	10 0 2 5 3 7	26 5 1 11 9
, ,_,	.—		•		同種造血 同胞間; 家族間/ 非血緣; 臍帯血	細胞移植 造血細胞和 で 造血細胞 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	多植 細胞移植 多植 者数 腫瘍		17 1 1 10 5 7 24 2016 4	13 2 2 1 8 7 20 2015	10 1 0 5 4 1 11 2014	10 0 2 5 3 7	5 1 11 9

学会登録と情報公開の関係



血液腫瘍疾患で91.9%(2982/3246) 固形腫瘍で93.9%(2895/3084)を捕捉しているものと考えられる

情報公開と学会登録の疾患分布差

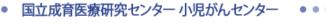


全体 2586 vs 2072 I.25倍

脳脊髄腫瘍 480 vs 309 I.56倍

眼腫瘍 81 vs 50 1.62倍

小児がん医療相談ホットラインを開設しました



小児がん医療相談 ホットライ

診断・治療に関するご相談を随時受け付けています

03-5494-8159

相談無料

平日10:00~16:00

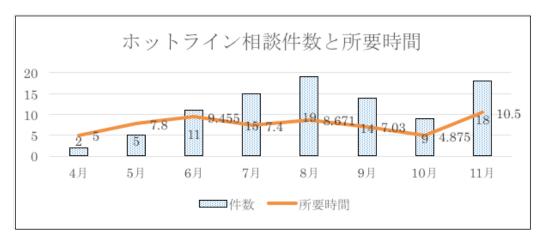
※通話料のみかかります

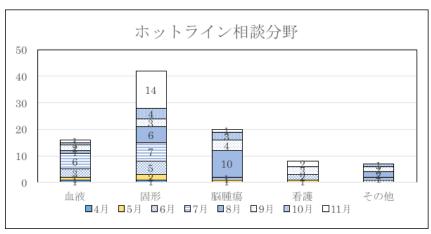


子どもが小児がんと診断された。診断や治療について詳しく知りたい。 主治医に説明してもらったが、内容が難しく十分に理解できない。 いま受けている治療が最適なのかどうか知りたい。専門の医師の意見を聞きたい。 過去に小児がんの治療を受けたが、進学を契機に通院が途絶えてしまった。どこにかかれば良いのか?

小児がん ホットライン



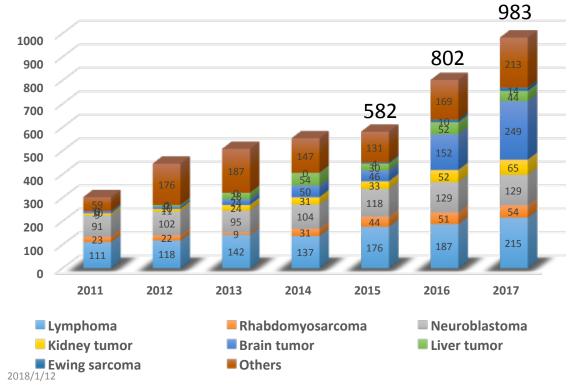




(3)全国の小児がんに関する臨床試験の支援を行うこと。

(4)小児がん拠点病院等に対する診断、治療などの診療支援を行うこと。

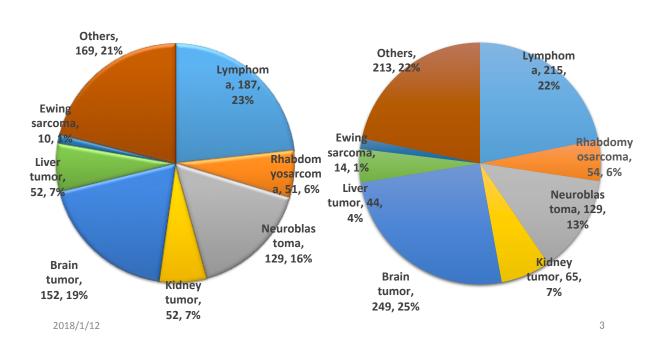
中央病理診断症例数の推移



腫瘍グループ別 中央病理診断症例数

802 cases, 2016

983 cases, 2017



2

小児がん 中央機関としての診断支援 血液腫瘍の免疫学的診断(細胞マーカー)

	2	2014	2	2015	2	2016	うち拠点 件数	病院症例	2017	うち拠点件数	病院症例
施設	全国*	成育	全国	成育	全国	成育			成育		
ALL	528	238	549	235	545	231	73	31.6%	236	66	28.0%
リンパ腫	30	16	40	33	53	47	15	31.9%	62	21	33.9%
AML/MDS	165	57	172	58	181	51	12	23.5%	82	29	35.4%
CML	20	20	11	10	7	7	4	57.1%	14	2	14.3%
その他*	15	8	122	64	136	87	18	20.7%	97	40	41.2%
(新規合計)	758	339	894	400	922	423	122	31.3%	491	158	32.2%
		44.7%		44.7%		45.9%					
再発 ALL	31	31	55	32	58	26	10	38.5%	22	8	36.4%
再発 リンパ腫	3	3	7	7	4	4	2	50.0%	4	3	75.0%
再発 AML	5	5	14	8	13	9	5	55.6%	6	1	16.7%
TAM	31	7	29	7		5	3	60.0%	6	3	50.0%
MRD		1110		936		961	309	32.2%	912	213	23.4%
合計		1495		1390		1428	450	31.5%	1441	386	26.8%

^{*}全国=成育+三重大学+大阪大学

休日/連休前時間外緊急検査の実施による 拠点病院等の診断支援

当センターでは、可能な限り時間外の中央診断依頼にも対応し、週末直前(金曜夜間等)の近隣拠点病院における緊急入院患者や大型連休中(年末年始、GW)の国内各施設の入院患者の中央診を行っている呼吸不全を伴い、早急に診断を確定し、治療開始が必要な場合など迅速な診断確定を行い、数字上には現れにくいが、拠点病院や基幹病院などの小児がんの質の高い診療に対し診断支援を行うことで貢献している

金曜夜間の緊急検査:	主に近隣の拠点病院や大学病院 6施設					
	ALL	8				
	AML	2				
	Mature B-MHL	3				
	B-LBL	1				
	リンパ腫疑い	1				
	固形腫瘍	1				
年末やGW日の中央診断:	近隣の拠点病院 2施設、北陸地区およ	び東海地区基幹病院 各1施設				
	非腫瘍(新生児)	1				
	ALL	3				
	T-LBL	1				

(5)小児がん診療に携わる者の育成に関する 国内の体制整備を行うこと。

2017.12.2 造血細胞移植チーム研修①

	第1日:12月2日(土) 受	√付開始:9:30~
時 間	内 容	講師
10:00~10:30	講義 1 「小児の造血細胞移植の概要」	松本 公一 国立成育医療研究センター 小児がんセンター センター長
10:30~11:00	講義 2 「小児の造血細胞移植の前処置などの 薬物療法」	加藤 元博 国立成育医療研究センター 小児がんセンター 移植・細胞治療科 医長
11:00~11:40	講義 3 「小児の造血細胞移植時の看護」	集田 映子 国立成育医療研究センター 看護部 小児看護専門看護師
11:40~12:00	講義 4 「小児の造血細胞移植時の口腔ケア」	金沢 英恵 国立成育医療研究センター 小児歯科・矯正歯科
13:00~13:25	講義 5 「小児の造血細胞移植時の栄養」	武井 牧子 埼玉小児医療センター がん病態栄養専門管理栄養士
13:25~14:00	講義 6 「本人・きょうだいへの説明」	伊藤 麻衣 国立成育医療研究センター チャイルドライフスペシャリスト
14:00~14:20	講義 7 「わたしの経験」	小児がん経験者
14:20~14:50	講義 8 「小児の造血細胞移植後の妊孕性」	木下明俊 聖マリアンナ医科大学病院 小児科 教授
15:00~15:50	演習 「モデル患者をもとに移植カンファレンス」	

2017.12.2 造血細胞移植チーム研修②

第2日:12月3日(日)受付開始:9:30~						
時 間	内 容	講師				
10:00~10:30	講義 9 「小児の造血細胞移植の最新治療」	加藤 元博 国立成育医療研究センター 小児がんセンター 移植・細胞治療科 医長				
10:30~11:00	講義 10 「小児の造血細胞移植中とリハビリ」	白子淑江 埼玉小児医療センター 保健発達部 理学療法				
11:00~11:30	講義 11 「移植コーディネーター」	安斎 紀 福島県立科大学附属病院 患者サポートセンター				
11:30~12:00	講義 12 「小児の造血細胞移植後のフォローアップ の必要性」	清谷 知賀子 国立成育医療研究センター 小児がんセンター				
13:00~13:40	講義 13 「小児の造血細胞移植後フォローアップ 外来の実際」	寺山 知子 名古屋第 一赤十字病院 小児科病棟 看護師				
13:40~14:00	講義 14 「わたしの経験」	全国骨髄バンク推進連絡協議会 会長 大谷貴子				
14:00~15:30	演習「モデル患者をもとに移植後のフォロー アッププラン立案/退院指導、生活指導」					
15:30~15:50	意見交換・まとめ					

小児がん中央機関が開催した「チーム研修」

2016.2.13 小児脳腫瘍多職種チーム研修2016.11.5 長期フォローアップチーム研修

2017.12.2 造血細胞移植チーム研修



これらの研修は、同様のプログラムを地域ブロック単位で 小児がん診療病院向けに開催していただくことを想定

その場合には、開催費用などの問題がある

(6) 小児がんの登録の体制の整備を行うこと

現在の進捗状況

- ・国立がん研究センターからの2016年発症分院内がん登録データ の提供を待機中
- ・成育で作成する報告書の内容の原案作成
- ・院内がん登録小児がん特異的追加項目候補案作成
- ・SEERに基づく小児がん/AYA世代の疾患分類表の作成
- ・小児血液・がん学会/小児外科学会/小児固形腫瘍観察研究の統合 オンライン入力システム

入力項目確定,詳細設計中 登録病名へのICD-O-3病名コード付与

成育で作成する報告書の内容(案)

- 1)小児・AYAの疾患の頻度のまとめ
 - ・SEERの小児がん分類表とAYAがん分類表による疾患一覧表(疾患・性別・年齢・都道府県別集計)
- 2)発生部位の検討
 - ・疾患別部位コード症例数、部位コード別組織分類名集計
- 3)患者住所と診療施設所在地
 - ・診断時患者住所/施設住所の表(全体・年齢階級別)
- 4)自施設診療の実態
 - ・診断/治療場所(自施設/他施設)の疾患別,年齢別,地域別集計
- 5)病名告知を疾患別、年齢別、地域別に集計(470:病名告知)
- 6)治療内容
 - ・「外科治療」、「放射線療法」、「化学療法」の自施設実施状況の疾患・部位・年齢・地域別集計
 - ・「鏡視下治療」,「内視鏡治療」,「内分泌療法」の実施数の年齢,疾患別集計
 - ・「経過観察のみ」の疾患、年齢、地域別集計
 - ・「切除度」の主要疾患別、部位別、地域別集計
 - ・「症状緩和的治療」の主要疾患別, 年齢別, 地域別集計

院内がん登録の小児がん特異的追加項目候補(案)

・「発症日」、「症状」(選択式)、「(初発時)他施設紹介」、「基礎疾患の有無」、 「造血幹細胞移植施行の有無」、「その他の治療」の内容(テキスト入力)、 「紹介元」、「紹介先施設」

今後とも、小児がん拠点病院・中央機関事業 にご協力のほどお願いいたします